

戦争法案を止めるために

7/14 火

戦争法案反対！強行採決反対！
7・14大集会&国会請願デモ
主催：総がかり行動実行委員会

国会前抗議
毎週（金）
19:30～21:30
SEALDs

7/15 水

国会前行動（15～17）
13:00 国会正門前周辺 主催：総がかり行動実行委員会
18:30 国会正門前周辺 SEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動）が予定

7/24 金

安倍政権NO！首相官邸包囲
18:30 集会・日比谷野音（大音楽堂）／19:00 首相官邸包囲
主催：安倍政権NO実行委員会

7/26 日

とめよう！戦争法案 集まろう国会へ
7・26国会包囲行動
14:00～15:30 国会議事堂周辺 主催：総がかり行動実行委員会

7/28 火

戦争法案反対！ 7・28日比谷集会
18:30 集会・日比谷野音（大音楽堂） 主催：総がかり行動実行委員会

7/31 金

安全保障関連法案に反対する
学生と学者の共同行動
17:00 国会周辺で行動
主催：SEALDs、安全保障関連法案に反対する学者の会

この地域では↓↓

安倍さん、なんだかヤバくない？



戦争しない国 未来につなごう

UNITE

日本共産党

私たちが声をあげれば 止められる



「戦争立法反対！渋谷デモ」には若者を中心に3500人が参加（6月14日）

国会であきらかに一やっぱり戦争法案

●これまで政府ができないとしてきた「戦闘地域」で自衛隊が米軍を「後方支援」する。「安全確保」というが、攻められたら「反撃する」と安倍首相は認めた。だいたい、日本がおこなう「後方支援」とは、世界では「兵たん」とよばれ、攻撃の対象となるのが軍事の常識。自衛隊の活動する場が戦場となるのだ。

●日本が攻められてもないのに、集団的自衛権を行使してアメリカの戦争に参戦しようとしている。安倍首相は「違法な武力行使をおこなう国は支援しない」というが、日本はアメリカの無法な先制攻撃の戦争に一度も反対したことがない。日本を「侵略国」の仲間入りさせるなんてありえない。

●形式上「停戦合意」はあっても戦乱がつづく地域に自衛隊を派兵することを政府はねらっている。2001年から13年間、アフガニスタンでの「治安維持」活動がおこなわれたが、各国兵士3500人が戦死している。こうした危険な活動への参加を安倍首相は否定しない。

加藤 拓真（北海道） **今立ち上がんなきや**

「詳しく知らない人が何いってんだ」とか、「対案は」とかいう人もいるけど、みんな「なんかヤバいんじゃない」と感じているわけで、「その思いを声に出していくときじゃないか」「いま立ち上がんなきや」って、若者デモをしました。

今回の法案は日本の自衛とは関係ない、アメリカの戦争に日本が参戦するためのもの。これ以上、安倍さんを進めさせたらダメだと思う。

森山 結衣（京都） **自衛隊員の友達のため**

友達が自衛隊にいます。「人の役に立ちたい」、「国のために助けになることがしたい!」ということを目指して入りました。戦闘地域にまで行って、殺し、殺される危険を覚悟して入ったわけじゃない。

もしも友達が戦争で亡くなってしまったらとても悲しい。だから反対です。

尾崎 あかり（山口） **命をおもちゃにしない**

武力（恐怖）では真の平和をつくることはできないし、誰かの命の犠牲の上に成り立つ「安心・安全」など要りません。血を流すのは政治家ではありません。安全圏にいる人が、勝手に国民の命をおもちゃにしないでください。

「戦争する国づくり」をあきらめるまで、私は反対し続けます。政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないように不断に努力します。

長嶋 駿（東京） **「戦争しない」が誇り**

70年前の戦争のあと、日本は二度と戦争しないと誓いました。それが世界のなかでの日本の誇りだと思えます。この法案が通ってしまったら、今までは違う国になってしまう。

平和をつくりだしていくことは簡単なことではないけれど、一番の近道は、戦争をしないこと。ボクらの平和に生きる権利を奪う戦争法案にゼッタイ反対です。

大反響！ 志位さんの国会質問

「マジで感動した」— 日本共産党志位和夫委員長の国会質問はコチラから。

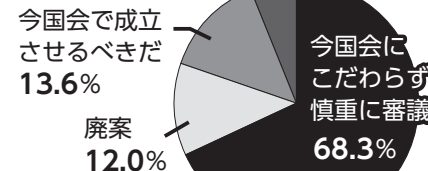


<https://youtu.be/VLswVb731ZI>



「成立反対」が8割こえる

国会で審議すればするほど、戦争法案の危険性が明らかになり、安倍内閣はまともにこたえることができない。



【時事通信】世論調査・6月